

会社概要

会社名	農事組合法人中園営農組合
代表者	代表理事 野原光明
設立	2003年
所在地	大分県国東市安岐町中園735番地1
資本金	1620千円
電話	090-7313-9219
メール	nakasono.einoukumiai@gmail.com
URL	https://nakasono.jbplt.jp/

求人情報はこちら



当組合では採用管理にAirワークを利用しています。

詳しい情報はWebにて

🔍 中園営農組合 でクリック!



農事組合法人

中園営農組合

since 2003

沿革

1996年	中園地区圃場整備事業開始（工期：平成11年～14年）
2002年	集落営農設立に向け協議開始。法人化を決定
2003年	法人設立。初代表理事に宇都宮善次が就任
2005年	経営構造対策事業にて米麦乾燥調整施設1号棟を建設
2012年	経営発展チャレンジ計画（5年間）を実施
2015年	代表理事に加藤哲也が就任
2018年	代表理事に野原光明が就任
2021年	農の雇用事業にて従業員1名を採用（現在も事業継続中）
2023年	雇用就農資金（令和5年第2回）事業にて従業員1名が実践中
2024年	雇用就農資金（令和6年第2回）事業にて従業員1名が実践中

会社案内

❖ 会社理念

Our Policy

私たちは、地域の皆様から
お預かりした大切な農地の維持
管理に努め、地域発展に寄与して
参ります。

令和4年に設立から20年を迎え、10haからスタートした経営は令和6年度に68haとなり、規模拡大に伴い売上も年々向上し安定経営が出来るようになりました。今後も規模の拡大が見込まれますが、人材の確保と育成、栽培技術の向上、IT活用による情報共有などにも力を入れ、一層の生産体制の確立を図っていききたいと思います。

令和6年度の経営面積は、夏作冬作併せて約130haとなりました。

❖ 代表挨拶

「地域の皆様に信頼と安心を」
それが私たちの想いです



代表理事
野原 光明

私たちは農業を通じて、地域を愛し、地域の人たちと共に地域社会の発展を目指しています。地域の人・自然環境・農地を守り頼られる農業法人として農業を魅力ある産業に変え、次の世代へ豊かな未来を創造します。

R6年 沖縄社員旅行（首里城・守礼門にて）

❖ 事業内容

水稻（主食米、飼料用米）

離農者の増加やオーバーツリズムの増加の影響で、令和の米騒動に陥る今、国産米は需要と供給のバランスが崩れている状況にあります。当組合では毎年主食用米と飼料用米の作付け面積を計算し、これまでの慣行栽培以外に蜜苗や乾田直播を行うことで労力とコスト削減に図り収益性を高めています。



大豆

天候や適期作業で収量に大きな差が生じる「大豆」大豆300A技術の取り組みをし、令和2年産で反収238kg（県平均94kg）を収穫し、九州ブロック豆類経営改善共励会 団体の部で九州農政局長賞を受賞することが出来ました。



麦（裸麦、小麦）

裸麦で反収600kg、平成19年度全国麦作共励会中央表彰式で全国第2位の全国米麦改良協会会長賞を受賞しました。現在は耕作面積の拡大に伴い収量は過去3年分の平均で裸麦は反収400kg、小麦は反収350kgといずれも県平均以上の収穫量を誇っています。



甘藷（サツマイモ）

当組合では国東市農業再生協議会 水田収益力強化ビジョンの取り組みの一環で甘ネギ、玉ねぎを栽培してきましたが利益に結びつくまでに至りませんでした。令和7年度は現在生産者が増えている甘藷に挑戦。取引先企業や先進農家の方からアドバイスを頂きながら、規模拡大を目指していきます。

